

～住みよく居心地の良い奈良市へ～

奈良市議会議員 日本維新の会奈良市議団所属

# 佐野かずのり 議会活動レポート



奈良市で生まれ育ち、大学までを奈良市で過ごしました。

大好きな奈良市に恩返ししたく、市民の皆さまや子供たちに住んで良かったと思っただけのような街に、奈良市を訪れていただいた方々に来てよかった、また訪れたいと感じていただけるような街にしたいと思っております。

本号は、令和6年度奈良市議会3月定例会一般質問と総務委員会での質問や要望を中心に、日々の活動をご報告いたします。

●令和6年3月 定例会

喫煙者・非喫煙者にとって有意義な活用を

## ◆ たばこ税の使途について ◆

たばこは国と地方の貴重な財源となっています。

たばこ税は他の税金と使われ方があまり変わらず、小中学校や図書館などの教育施設や教科書などのお金、高齢者や障がい者のための福祉施設やサービスなど、さまざまなことに使われています。

本市のたばこ税の税収は年々増加傾向にあり、令和5年度の決算額も令和4年度を上回り、令和6年度税収予算額も18億円となっておりますが、おそらく決算額は増えるのではないかと考えます。

たばこは貴重な税収として社会貢献をしていますが、健康面や受動喫煙、路上喫煙による吸い殻のポイ捨てといった問題があります。

特にポイ捨てについては、本市では条例で路上喫煙禁止地域を指定しながらも、灰皿が設置された喫煙場所がないため、ポイ捨てがなくなるのではないかと考えます。

本市はたばこ税の税収を一般財源として充当しています。

路上喫煙を禁止するのであれば、分煙施設を設置するなどし、街の美化のため、受動喫煙防止のため、この税収の一部でも活用して喫煙者と非喫煙者が快適に過ごせる空間の設置が必要であると考えます。

共存するための施策に充てるなどの配慮があってもいいのではないのでしょうか。

たばこを吸う人、吸わない人が互いに快適に過ごせる社会の実現に向けて、喫煙マナーの向上、分煙環境の整備、周囲への配慮などの施策を検討していただきたいと要望いたしました。

●令和6年3月 定例会

## ◆ 令和6年度農林業行政の予算、方向性 ◆

農林業に係る予算が増額され、新たな取り組みがはじまりました。

これらの予算は、人材の確保・農地山林の保全・生産力と収益の向上・流通促進などといったそれぞれのステージの施策の中で取り組めるものについて計上されており、「市民農園事業」や「里山整備事業」は、農地山林の維持保全・活用を図っていくという考えのもと新たな施策として行政だけでなく地域の方々と共にこれらの自然環境を守り持続的に活用していこうとするものです。

「市民農園事業」は、現在、市街化区域の生産緑地だけでしか行うことができません。

奈良市には活用されていない市有地が多数点在しており、これらの私有地を市民農園として活用し、地域のコミュニティの場としてはどうか、また「里山整備事業」も対象地目が山林のみになっており、山間地の農地も担い手不足で休耕地が荒れ、雑木林になっている現状もありますので、地目を山林のみにするのではなく田畑にまで広げるべきではないかと考えます。

農林業を持続可能な産業(生業)へ押し上げるため、更なる施策で本市における農林業振興の強化に努めていただく事を要望いたしました。



【白毫寺町里山保全会】 山林へ栗の木植樹  
令和6年3月